

る町内会が自主防災組織としての役割を発揮したそうです。

被災した商店街では、ガラスが割れたり、建具が湾曲したりして扉が閉められず、商品盗難の心配のため店から離れられない被災者も多くいたそうです。また、商品を自動車に移したり、自動車で店の前をふさいだりするような光景もあったそうです。そうしたことから、自家用車に寝泊まりする被災者が多くなり、安否の確認、避難者の把握が大変であったとのことでした。

夜間は、被災者の不安を和らげるために、発電機でなるべく明かりをつける

るようにしたそうです。また、使用でき

るトイレと使用できないトイレを地域ごとに判別し、トイレに流す水は、若い人が交代で川へ汲みに行ったそうです。

こうした中、最も重要であったのが、災害対策本部との連絡体制の確保です。これを町内会が担ったとのこと

です。小千谷市本町町内会風間久司会長は、「町内会が自主防災組織として果たした役割は非常に大きかったといえます。震災時は、家族、隣近所、そして町内会の助け合いが非常に役に立

ちました。この震災によって防災への意識がより一層高まりました。現

在、小千谷市の各町内会では、高齢の方や障害のある方などいざという時に助けが必要な「要援護者」名簿の作成・更新に力を入れています。」と話してくれました。

また、視察に行った羽村市町内会連合会の山本啓史会長は、「各町内会・自治会の自主防災組織としての一層の機能強化とともに、連携や協調を図っていくことの重要性を改めて認識できました。大変有意義な視察でした。」と語っていました。

小千谷市の町内会では、地震は「いつ来るかわからないもの」ではなく「いつか必ずやってくるもの」という認識で現在も活動を続けているそうです。

地震への備えは、各家庭での備蓄物資の備えはもとより、日ごろの隣近所とのつきあいや町内会・自治会活動への参加によって、自主防災組織の機能強化を図っておくことも、同じように重要なことなのではないでしょうか。

「餅つき」をきっかけに

1月18日(日)、新春恒例のふれあい餅つき大会を行いました。

町内会役員やPTAなどの実行委員が前日から準備を進め、迎えた当日は絶好の餅つき日和。蒸かし終えたもち米が臼にかけられると、「ペタン、ペタン」きねの音が町内に響き渡ります。

川崎西町内会のふれあい餅つき大会は、年末の資源回収から始まり、12月の資源回収の日には、



軽トラック4台がフル稼働で、何度も町内を回り、集められた資源は、膨大な量に。町内会の皆さんが、新聞紙やダンボール、アルミ缶を家庭で溜め込んでくれたからです。その収益金が、年明けの「餅つき大会」の経費に充てられるのです。会員の影の力が、町内会活動を支えてくれています。

餅つき大会の前には、班長さんが、各家庭に丸もちとお赤飯のパックの引換券を一軒一軒配って回ります。そこで高齢の方や子ども

ちにも出会います。「何年も住んでいたけれど、班長になつてはじめて近所にどんな人が住んでいるのかわかりました」と語るのは若い班長さん。

餅つきの会場で、きな粉もちやあべかわづくりで顔を会わせる女衆。子ども連れで餅つきを楽しむ若いお父さんたち。椅子に腰掛け語りあう高齢の人たち。「餅つき」という行事を通じて、子どもから高齢の方まで、町内の皆さんが交流します。

餅つきが終わり、役員がテントや椅子を片付けていると、それまで、子どもや家族と話をしていた若いお父さんが、力仕事を手伝ってくれました。

「これを積み込めばいいですか」と。自然とうれしい気持ちでいっぱいになり、「家はどこよ」と話が始まります。

町内会の事業を通じて、人と人が出会い、親交を深め、お互いを知る。参加するきっかけがあれば、町内の皆さんは力を出し合い協力してくれます。そのきっかけをなるべく多くの方に提供していくことが大切だと感じています。

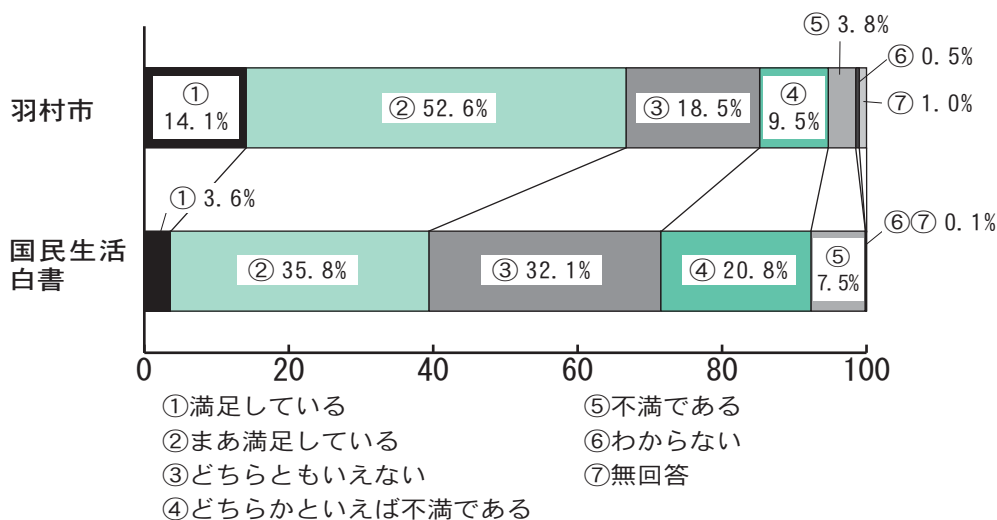
町内会の活動が、出会いのきっかけづくりの場となれば幸いです。

(川崎西町内会会長 中野政夫)

地域の力 市民アンケート結果

羽村市では、町内会・自治会の加入率が50%を下回っています。
地域の現状を把握するために「地域の力 市民アンケート調査」を行いました。その結果の一部をお知らせします。羽村市の特徴を知るために、内閣府が全国レベルで調査を行った平成19年版国民生活白書と対比する形でお知らせします。

■生活全般に満足していますか。それとも不満ですか。

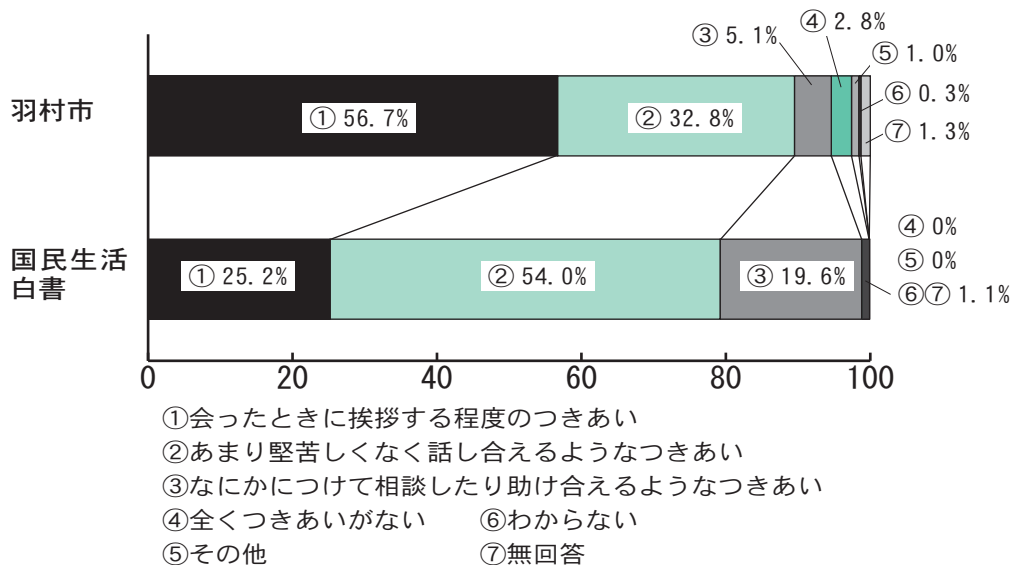


●羽村市の生活満足度は高い

羽村市で生活に満足している市民の割合は約14%、まあ満足しているは約53%で両者合計すると約67%となります。

国民生活白書の結果は、満足している約4%、まあ満足しているが約36%。合計しても約40%で、羽村市の生活満足度は高い結果となっています。

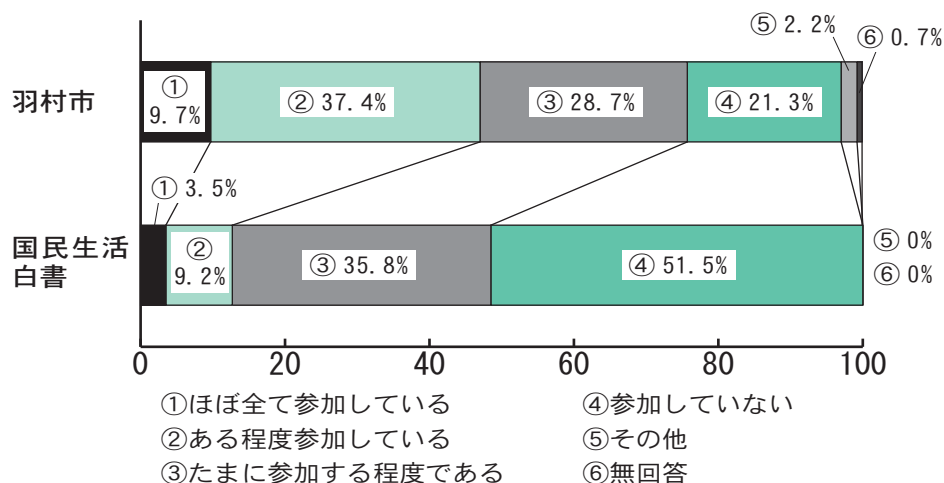
■隣近所とのつきあいについて、あなたはどれにあたりますか。



●羽村市では「挨拶する程度」のつきあい

隣近所とのつきあいは「挨拶する程度」が約57%。国民生活白書では「話し合えるようなつきあい」が約54%となっています。つきあいの程度は羽村市の方が希薄となっています。

■町内会・自治会に加入している方にお聞きします。
あなたは町内会・自治会活動にどの程度参加していますか。



●町内会・自治会活動に積極的

町内会・自治会加入者に聞いた数値ですが、「ほぼすべてに参加」「ある程度参加」を合わせると約47%の人が活動に参加しています。

国民生活白書では、両者あわせて約13%と低くなっています。

羽村市の町内会・自治会加入者はその活動に積極的に参加しています。

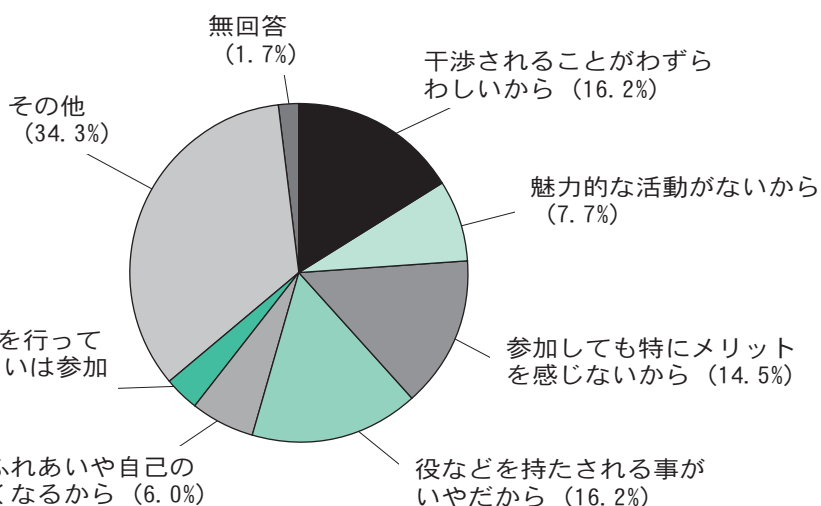
■町内会・自治会に加入していない方にお聞きします。その理由はなんですか。

●加入していない理由は多様化

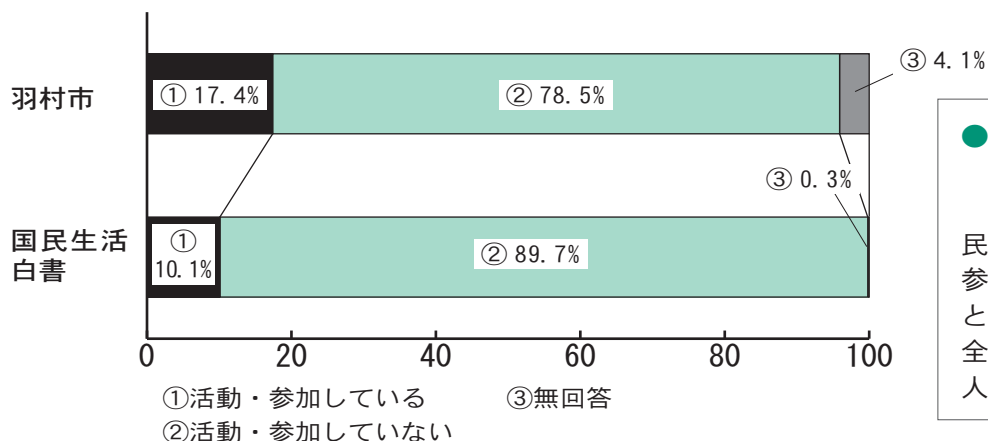
町内会・自治会に加入していない理由の一番多い項目は「その他」で、約34%を占めています。未加入の理由は、多様化しています。

PTAなどその他の団体の活動を行っているので両立が難しい、あるいは参加する必要がないから (3.4%)

事業が多く家族とのふれあいや自己の趣味の時間が持てなくなるから (6.0%)



■あなたは地域で町内会・自治会以外の市民活動・ボランティア活動などに参加していますか。
(国数値の「活動・参加していない」は「今後は参加」と「今後もしない」をカウント)



●市民活動・ボランティア活動参加は約17%

町内会・自治会活動以外の市民活動やボランティア活動への参加は約17%と、国民生活白書と比べて多くなっていますが、全体的には活動に参加している人は少なくなっています。